

教科(科目)	社会	単位数	3単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	東京書籍(教科書)				
副教材等	新ワーク(浜島書店)、資料集(浜島書店)				

## 1 学習目標

広い視野に立って、社会的事象に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力を育てるとともに、世界の諸地域の特色・我が国の歴史の大きな流れを理解させる。

## 2 指導の重点

資料等を丁寧に読み取り、根拠を明確にして、自分の考えをまとめる力・相手に分かりやすく伝える力を育てる。(言語活動の充実)

## 3 評価基準

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から比較した、各地の人々の生活、世界の各州に関する重要語句を理解している。</li> <li>時代を大観し、基本的な出来事、人名、語句を理解している。</li> <li>グラフや統計資料から必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から各地の人々の生活、各州の特色をまとめることができる。</li> <li>中世までの歴史の流れと特色を複数の資料から見出し、まとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ地理的な思考・歴史的な思考を現代的な諸課題を考えるために活用することができる。</li> </ul>
評価方法	課題考査、定期考査	提出物、課題考査、レポート、定期考査	授業への取組、提出物、分析ノート、レポート、

## 4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4	地理 ・日本のすがた	9	教科書 資料集	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の位置、領域</li> <li>日本の地域区分</li> </ul>	a,b,c	定期考査、提出物、単元テスト、授業への取り組み等
5	地理 ・世界の姿	9	教科書 資料集	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の姿、地球儀と世界地図</li> <li>世界の国々と地域区分、主な国々の国名と位置</li> </ul>	a,b,c	同上
6	歴史 ・歴史のとらえ方 ・古代までの日本	10	教科書 資料集	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の大きな流れ</li> <li>文明の起こりと成り立ち</li> </ul>	a,b,c	同上

7	地理 ・世界各地の 人々の生活と環 境	9	教科書 資料集	・様々な地域で暮らす人々 ・生活に根ざす宗教, 伝統的な生活と その変化	a,b,c	同上
8		2			a,b,c	同上
9	歴史 ・古代までの日 本	10	教科書 資料集	・古代国家の歩みと東アジア世界	a,b,c	同上
10	地理 ・世界の諸地域	10	教科書 資料集	・アジア州	a,b,c	同上
11	地理 ・世界の諸地域	10	教科書 資料集	・ヨーロッパ州 ・アフリカ州	a,b,c	同上
12	地理 ・世界の諸地域	9	教科書 資料集	・北アメリカ州 ・南アメリカ州	a,b,c	同上
1	地理 ・世界の諸地域	9	教科書 資料集	・オセアニア州 ・世界の様々な地域の調査	a,b,c	同上
2	歴史 ・中世の日本	10	教科書 資料集	・武士の台頭と鎌倉幕府	a,b,c	同上
3	歴史 ・中世の日本	8	教科書 資料集	・東アジア世界とのかかわりと社会の 変動	a,b,c	同上

計 1 0 5 時間 ( 5 5 分授業)

## 5 課題・提出物等

定期テスト前に授業ノート・ワーク、定期テスト後に分析ノートを提出してもらいます。期限を守って提出しましょう。

## 6 担当者から一言

事象をただ暗記するだけでなく、物事と物事のつながりや広がり、起源、現代的な問題とのつながりなど、様々な視点から考えることを大切にして学びを深めていきましょう。

教科(科目)	社会	単位数	3単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	東京書籍(教科書)				
副教材等	新ワーク(浜島書店)、資料集(浜島書店)				

## 1 学習目標

広い視野に立って、社会的事象に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力を育てるとともに、世界の諸地域の特色・我が国の歴史の大きな流れを理解させる。

## 2 指導の重点

資料等を丁寧に読み取り、根拠を明確にして、自分の考えをまとめる力・相手に分かりやすく伝える力を育てる。(言語活動の充実)

## 3 評価基準

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から比較した、各地の人々の生活、世界の各州に関する重要語句を理解している。</li> <li>時代を大観し、基本的な出来事、人名、語句を理解している。</li> <li>グラフや統計資料から必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から各地の人々の生活、各州の特色をまとめることができる。</li> <li>中世までの歴史の流れと特色を複数の資料から見出し、まとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ地理的な思考・歴史的な思考を現代的な諸課題を考えるために活用することができる。</li> </ul>
評価方法	課題考査、定期考査	提出物、課題考査、レポート、定期考査	授業への取組、提出物、分析ノート、レポート、

## 4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4	歴史 ・近世の日本	9	教科書 資料集	・ヨーロッパ人との出会いと全国統一	a,b,c	定期考査, 提出物, 単元テスト, 授業への取り組み等
5		9	教科書 資料集	・江戸幕府の成立と鎖国	a,b,c	同上
6		10	教科書 資料集	・産業の発達と幕府政治の動き	a,b,c	同上
7	・世界から見た日本の姿	9	教科書 資料集	・世界と日本の地形 ・世界と日本の気候	a,b,c	同上

8		2			a,b,c	同上
9	地理 ・世界から見た日本の姿 歴史 ・近世の日本	10	教科書 資料集	地理 ・世界と日本の人口 ・世界と日本の資源, エネルギー 歴史 ・産業の発達と幕府政治の動き	a,b,c	同上
10	地理 ・日本の諸地域	10	教科書 資料集	・九州地方 ・中国四国地方	a,b,c	同上
11		10	教科書 資料集	・関西地方, 中部地方 ・関東地方	a,b,c	同上
12	・身近な地域の調査	9	教科書 資料集	・東北地方, 北海道地方 ・身近な地域の調査とまとめ	a,b,c	同上
1	歴史 ・開国と近代日本の歩み	9	教科書 資料集	・欧米の進出と日本の開国	a,b,c	同上
2		10	教科書 資料集	・明治維新 ・日清日露戦争と近代産業	a,b,c	同上
3		8	教科書 資料集	・日清日露戦争と近代産業	a,b,c	同上

計 1 0 5 時間 ( 5 5 分授業)

## 5 課題・提出物等

定期テスト前に授業ノート・ワーク、定期テスト後に分析ノートを提出してもらいます。期限を守って提出しましょう。

## 6 担当者から一言

事象をただ暗記するだけではなく、物事と物事につながりや広がり、起源、現代的な問題とのつながりなど、様々な視点から考えることを大切にして学びを深めていきましょう。

教科(科目)	社会	単位数	3単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	東京書籍(教科書)				
副教材等	新ワーク(浜島書店)、資料集(とうほう)				

## 1 学習目標

広い視野に立って、社会的事象に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力を育てるとともに、世界の諸地域の特色・我が国の歴史の大きな流れを理解させる。

## 2 指導の重点

資料等を丁寧に読み取り、根拠を明確にして、自分の考えをまとめる力・相手に分かりやすく伝える力を育てる。(言語活動の充実)

## 3 評価基準

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から比較した、各地の人々の生活、世界の各州に関する重要語句を理解している。</li> <li>時代を大観し、基本的な出来事、人名、語句を理解している。</li> <li>グラフや統計資料から必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から各地の人々の生活、各州の特色をまとめることができる。</li> <li>中世までの歴史の流れと特色を複数の資料から見出し、まとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ地理的な思考・歴史的な思考を現代的な諸課題を考えるために活用することができる。</li> </ul>
評価方法	課題考査、定期考査	提出物、課題考査、レポート、定期考査	授業への取組、提出物、分析ノート、レポート、

## 4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4	歴史 ・日清日露戦争と近代産業	12	教科書 資料集	・日清日露戦争と近代産業	a,b,c	定期考査, 提出物, 単元テスト, 授業への取り組み等
5	・二度の世界大戦と日本	12	教科書 資料集	・第一次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦と日本	a,b,c	同上
6	・現代の日本と世界	15	教科書 資料集	・戦後日本の発展と国際社会 ・新たな時代の日本と世界	a,b,c	同上
7	公民 ・現代社会と私たちの生活	15	教科書 資料集	・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方	a,b,c	同上

8		4			a,b,c	同上
9	・個人の尊重と 日本国憲法	12	教科書 資料集	・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会	a,b,c	同上
10		12	教科書 資料集	・これからの人権保障	a,b,c	同上
11	・現代の民主政 治と社会	12	教科書 資料集	・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み	a,b,c	同上
12		12	教科書 資料集	・地方自治と私たち	a,b,c	同上
1	・私たちの暮ら しと経済	12	教科書 資料集	・消費生活と経済 ・生産と労働	a,b,c	同上
2		12	教科書 資料集	・価格の働きと金融 ・政府の役割と国民の福祉 ・これからの社会と経済	a,b,c	同上
3	・地球社会と私 たち	10	教科書 資料集	・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本	a,b,c	同上

計140時間（55分授業）

## 5 課題・提出物等

定期テスト前に授業ノート・ワーク、定期テスト後に分析ノートを提出してもらいます。期限を守って提出しましょう。

## 6 担当者から一言

事象をただ暗記するだけでなく、物事と物事のつながりや広がり、起源、現代的な問題とのつながりなど、様々な視点から考えることを大切にして学びを深めていきましょう。

# 令和6年度シラバス（歴史総合）

学番6301 新潟市立高志中等教育学校

	地理歴史科（歴史総合）	単位数	2 単位	学年	4 学年
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）				
副教材等	詳述歴史総合徹底整理演習ノート新課程版（実教出版）、ダイアログ歴史総合（第一学習社）				

## 1 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 2 指導の重点

大学受験に必要な基礎力をつけることが最重点です。近現代の歴史を「近代化」「大衆化」「グローバル化」という観点に着目し、世界と日本の動きを学びます。

## 3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態
<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな視点から歴史的事象をとらえ、歴史事象に関連する重要語句を理解している。</li> <li>・グラフや統計資料、図版、年表などから必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的事象を多角的にとらえ、その影響・意義について考察することができる。</li> <li>・資料から考察した内容をレポートなどにまとめ、わかりやすくまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と協働しながら、さまざまな歴史的事象を理解し、それを現代社会の諸課題を考えたり解決したりすることに活用しようとしている。</li> </ul>
<p>〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、定期考査・小テスト・授業レポート・授業への取り組み等から総合的に評価する。</p>		

## 4 学習計画（総時数70時間）

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4 5	歴史の扉 第1編 近代化と私たち	1 3	1 近代化への胎動 2 欧米の市民革命と国民国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。</li> <li>・18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。</li> </ul>	①  ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。</li> <li>・帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。</li> <li>・19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。</li> </ul>		
6～ 8		15 3	3 アジアの変容と日本の近代化 4 帝国主義の時代			

9・10	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	1 3	5 第一次世界大戦と大衆社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</li> <li>・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。</li> <li>・1910～1920年代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
			1 3	6 経済危機と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。</li> <li>・経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。</li> <li>・第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</li> </ul>	① ② ③
11・12						
1～3	第3編 グローバル化と私たち	1 6	7 冷戦と脱植民地化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理，日本の高度経済成長などを基に，国際政治の変容を理解している。</li> </ul>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> </ul>
			8 多極化する世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，日本の高度経済成長の背景と影響，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察，表現している。</li> </ul>	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
			9 グローバル化と現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1950～現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</li> </ul>	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>

## 5 課題・提出物等

ワークシートやレポートを提出することがあります。定期考査ごとに課題提出があります。長期休業の課題はあ

## 6 担当者からの一言

歴史総合は、18世紀から現在までの近現代史を学ぶ科目です。世界と日本の深いつながりを経史的な動きのなかで探ってみましょう。歴史総合を学ぶことで、目の前の世界は不変のものではなく、日々動いていることを実感できるでしょう。このことは、世界はこれからどこに向かって動いているかを考えることでもあります。授業では積極的に「問い」を立てる姿勢が大切です。「答えを学ぶ」という学習だけではなく「歴史に向かって問いかける」という学習への姿勢を身につけていきましょう。（授業担当 高橋祐子）

教科（科目）	地理総合	単位数	2単位	学年（コース）	4学年
使用教科書	新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）				
副教材等	最新地理図表ジオ（第一学習社）、新地理総合ノート（帝国書院）				

1 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。5・6年で履修する「地理探究」の基礎力をつける。

2 指導の重点

大学受験に必要な地理の基礎力をつけることが最重点である。「地図でとらえる現代社会」「国際理解と国際協力」「持続可能な地域づくりと私たち」を中心に、「地理探究」の基礎を確立する。

3 評価基準

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から比較をし、系統地理と地誌に関わる重要語句を理解している。</li> <li>グラフや統計資料、図版、年表、地形図などから必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理事象を多角的にとらえ、その影響・意義について考察することができる。</li> <li>資料から考察した内容をレポートなどにまとめ、分かりやすくまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者と協働しながら、さまざまな地理的事象を理解し、それを現代社会の諸課題を考えたり解決したりすることに、活用しようとする意欲が見られる。</li> </ul>
評価方法	定期考査	提出物、レポート、定期考査	提出物、レポート、分析ノート

4 学習計画（総時数 70 時間）

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4	第1部 地図でとらえる現代社会 ・1地図と地理情報システム	6	教科書 新地理総合ノート	地球上の位置と時差、 地形図の読み取り 地図の役割と種類	a,b,c	定期考査、提出物、単元テスト、授業への取り組み等
5	2結びつきを深める現代社会	8	教科書 新地理総合ノート	現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	a,b,c	同上
6	第2部 国際理解と国際協力	6	教科書 新地理総合ノート	世界の地形と人々の生活	a,b,c	同上

	・ 1 生活文化の多様性と国際理解					
7		6	教科書 新地理総合ノート	世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活	a,b,c	同上
8		2	教科書 新地理総合ノート		a,b,c	同上
9		6	教科書 新地理総合ノート	歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活	a,b,c	同上
10	・ 2 地球的課題と国際協力	6	教科書 新地理総合ノート	複雑に絡み合う地球的課題 SDGs 地球環境問題 資源・エネルギー問題	a,b,c	同上
11		6	教科書 新地理総合ノート	人口問題 食料問題 都市・居住問題	a,b,c	同上
12	第3部 持続可能な地域づくりと私たち ・ 1 自然環境と防災	6	教科書 新地理総合ノート	日本の自然環境	a,b,c	同上
1		6	教科書 新地理総合ノート	地震・津波と防災 ハザードマップ 火山災害と防災	a,b,c	同上
2		6	教科書 新地理総合ノート	気象災害と防災 自然災害への備え	a,b,c	同上
3	2 生活圏の調査と地域の展望	6	教科書 新地理総合ノート	生活圏の調査と地域の展望	a,b,c	同上

## 5 課題・提出物等

定期考査前に授業ノート・ワークなどの提出物を課す。定期考査後に分析ノートを課す。

## 6 担当者から一言

事象をただ暗記するだけでなく、物事と物事のつながりや広がり、起源、現代的な問題とのつながりなど、様々な視点から考えることを大切に学びを深めていきましょう。

令和6年度シラバス（ 公共 ）

学番6301 新潟市立高志中等教育学校

教科名	公民（公共）	単位数	2単位	学年	5学年（全コー
使用教科書	詳述公共（実教出版）				
副教材等	2024ズームアップ公共資料（実教出版） 詳述公共 演習ノート（実教出版）				

1 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 指導の重点

哲学や宗教に対する基本的な知識、また、国際社会や現代の諸問題についての基本的な理解を深めさせ、健全な自己形成を促し、主体的に生きることの大切さを自覚させる。

現代の日本の政治及び経済に対する基本的な知識や理解を深めさせ、望ましい政治のあり方や、現代経済の仕組みや機能についての見方や考え方を身に付けさせる。

3 評価基準と評価方法

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。

4 年間計画（総時数70時間）

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4 5 6	倫理	15	・ 社会を作る私たち  ・ 人間としてよく生きる  ・ 民主社会の倫理	・ 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。  ・ 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。  ・ 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。	① ② ③	・ 定期考査  ・ 授業レポート  ・ グループワークへの取組  ・ ワークノート

7 8 9	政治	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主国会における基本原理</li> <li>・日本国憲法の基本的性格</li> <li>・日本の政治機構と政治参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。</li> <li>・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</li> <li>・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークノート</li> </ul>
10 11 12	経済	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済社会</li> <li>・経済活動のあり方と国民福祉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</li> <li>・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークノート</li> </ul>
1 2 3	問題演習	10		演習問題を通して、前期公民の学習成果をふまえ、公共の知識を体系的に理解し、問題解決の技法を習得している。	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークノート</li> </ul>

## 5 課題・提出物等

ワークノートやレポートの提出を求めています。

## 6 担当者からの一言

公共は、人間、幸福、政治、経済などを学ぶ科目です。授業の中で、生徒の意見を聞く機会もありますので、ぜひ自分の意見を持つようにしましょう。日常生活と学習を結び付けて考えられるようにし、自ら学ぶ姿勢を身に付けられるようにしましょう。

(授業担当 村上雅俊)

## 令和6年度シラバス（日本史探究）

学番6301 新潟市立高志中等教育学校

教科名	地理歴史科（日本史探究）	単位数	3単位	学年	5学年（人文コー
使用教科書	日本史探究（実教出版）				
副教材等	新詳日本史（浜島書店） ポテンシャル日本史基礎力養成編（山平商会 出版事業部） ポテンシャル日本史用語BestSelect20（電子書籍）				

### 1 学習目標

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について学び、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

### 2 指導の重点

授業を通して大学入試に必要な基礎力を身につけます。古代国家の形成から現代までの歴史について対外的な環境の変化や国内の諸状況の変化などを扱い、歴史的事象を理解し、各時代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現し、主体的に探究しようという態度を育てます。

### 3 評価基準と評価方法

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態
各時代の特色をとらえ、歴史的事象に関する知識が身についている。	各時代の特色や時代の変化に着目して、多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	歴史的な問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
<p style="text-align: center;">〔評価方法〕</p> 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	<p style="text-align: center;">〔評価方法〕</p> 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	<p style="text-align: center;">〔評価方法〕</p> 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。

### 4 年間計画（総時数105時間）

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	第1部 原始・古代の日本と東アジア	8	第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。</li> <li>・黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</li> <li>・旧石器時代・縄文時代・弥生時代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
5・6	第1部 原始・古代の日本と東アジア	12	第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化  第3章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。</li> <li>・中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、小国の形成と連合、古代の国家の形成過程について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・ヤマト政権の成立と古墳文化に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

7・8	第2部 中世の日本と世界	8  6	第4章 古代の国家・社会の変容  第1章 荘園公領制の成立と院政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解している。</li> <li>・ 地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，根拠を示して表現している。</li> <li>・ 貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解している。</li> <li>・ 権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。</li> <li>・ 貴族政治の変容や武家政権の成立，当該期の世界との関わりについて，課題を主体的に探究しようとしている。</li> </ul>	① ② ① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 授業レポート</li> <li>・ グループワークへの取組</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
9・10	第2部 中世の日本と世界	12  14	第2章 中世の国家・社会の展開  第3章 中世の国家・社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解している。</li> <li>・ 公武関係の変化，宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</li> <li>・ 武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解している。</li> <li>・ 社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響などに着目して，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</li> <li>・ 中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。</li> </ul>	① ② ① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 授業レポート</li> <li>・ グループワークへの取組</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
11	第3部 近世の日本と世界	10	第1章 東アジアの世界の変容と天下統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解している。</li> <li>・ 時代の転換に着目して，近世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。</li> <li>・ 織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 授業レポート</li> <li>・ グループワークへの取組</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>

12 ・ 1	第 3 部 近世の日本と世界	16 第2章 幕藩体制の成立と展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，幕藩体制の確立，産業の発達，近世の社会と文化の特色を理解している。</li> <li>・織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化，交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係，社会・経済の仕組みの変化，などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</li> <li>・近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
2 ・ 3	第 3 部 近世の日本と世界	11 第3章 近世の国家・社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解している。</li> <li>・近世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</li> <li>・近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

## 5 課題・提出物等

ワークシートやレポートを提出することがあります。

## 6 担当者からの一言

この科目では中学校での学習や歴史総合の学習成果をふまえ、原始・古代から近現代までの日本の歴史をより深く、詳しく学びます。私たちが生きているこの社会や国家のしくみはどのようにしてつくられてきたのでしょうか。この科目の教材はそれを探るためのツールです。日本の歩みをいっしょに探っていきましょう。(授業担





						に考察し表現している。 交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
--	--	--	--	--	--	--

## 5 課題・提出物等

単元ごとに補充プリントを利用。 長期休業時に課題。

## 6 担当者から一言

日本や世界で起きている事象をグローバルかつ多面的な視野で探究するスキルを磨きましょう。

# 令和6年度シラバス（政治・経済）

学番6301 新潟市立高志中等教育学校

教科名	公民（政治・経済）	単位数	2単位	学年	6学年（人文コー
使用教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）				
副教材等	最新図説 政経（浜島書店） 政治・経済ノート（第一学習社）				

## 1 学習目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 指導の重点

現代の国際政治及び世界経済に対する基本的な知識や理解を深めさせ、望ましい政治のあり方や、現代経済の仕組みや機能についての見方や考え方を身に付けさせる。また、日本の政治及び日本経済については、これまでの学習の成果と社会とのつながりを自らで考え、理解を深める。

## 3 評価基準と評価方法

④ 知識・技能	⑤ 思考・判断・表現	⑥ 主体的に学習に取り組む態
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。

## 4 年間計画（総時数70時間）

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4 5	国際法の果たす役割	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の変遷</li> <li>・国際法の意義</li> <li>・国際機構の役割</li> <li>・国際紛争と軍縮への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀の国際社会の動向について把握するとともに、世界情勢がどのように変化しているのか理解する。</li> <li>・国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差があることを理解する。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
6	国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の安全保障と国際貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の防衛政策の基本理念について理解する。</li> <li>・国際平和と人類の福祉のために日本が貢献できることについて考察する。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>

7 8	相互依存関係が深まる国際経済の特質	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の現状と意義</li> <li>・国民経済と国際収支</li> <li>・為替相場の変動</li> <li>・国際協調と国際経済機関の役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。</li> <li>・グローバリゼーションにともなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、考察する。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
9	国際経済において求められる日本の役割	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済における日本の地位と国際協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
10 11 12	日本の政治・日本経済	20	政治・経済の各トピック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治・経済に関する複雑な理論や時事問題について、実例を学びながら理解を深める。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> </ul>
1 2 3	問題演習	20		<ul style="list-style-type: none"> <li>演習問題を通して、公共の学習成果をふまえ、政治・経済の知識を体系的に理解し、問題解決の技法を習得している。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークノート</li> </ul>

## 5 課題・提出物等

ワークノートやレポートの提出を求めています。

## 6 担当者からの一言

政治・経済は、公共の学習成果をもとに、まずは、国際政治・国際経済を学習します。授業の中で、生徒の意見を聞く機会もありますので、ぜひ自分の意見を持つようにしましょう。世の中の動きに関心を持つようにし、自ら学ぶ姿勢を身に付けられるようにしましょう。  
(授業担当 村上雅俊)

## 令和6年度シラバス（日本史探究）

学番6301 新潟市立高志中等教育学校

教科名	地理歴史科（日本史探究）	単位数	3単位	学年	6学年（人文コー
使用教科書	日本史探究（実教出版）				
副教材等	新詳日本史（浜島書店） ポテンシャル日本史基礎力養成編（山平商会 出版事業部） ポテンシャル日本史用語BestSelect20（電子書籍）				

### 1 学習目標

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について学び、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

### 2 指導の重点

授業を通して大学入試に必要な基礎力を身につけます。古代国家の形成から現代までの歴史について対外的な環境の変化や国内の諸状況の変化などを扱い、歴史的事象を理解し、各時代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現し、主体的に探究しようという態度を育てます。

### 3 評価基準と評価方法

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態
各時代の特色をとらえ、歴史的事象に関する知識が身についている。	各時代の特色や時代の変化に着目して、多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	歴史的な問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。

### 4 年間計画（総時数105時間）

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	第3部 近世の日本と世界	10	第3章 近世の国家・社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解している。</li> <li>・近世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</li> <li>・近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に</li> </ul>	①  ②  ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

5・6	第4部 近現代の地域・日本と世界	6	第1章 開国から倒幕へ  第2章 明治維新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政府の成立などを基に，近世から近代への時代の時代の転換を理解している。</li> <li>・ 明治維新，自由民権運動を基に，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。</li> <li>・ 時代の転換に着目して，近代の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。</li> <li>・ 幕末の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。</li> </ul>	①  ②  ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 授業レポート</li> <li>・ グループワークへの取組</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
7・8	第4部 近現代の地域・日本と世界	16	第3章 近代国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大日本帝国憲法の制定，条約改正，日清・日露戦争などを基に，立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。</li> <li>・ アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立について，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など</li> </ul>	①  ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 授業レポート</li> <li>・ グループワークへの取組</li> </ul>
9・10	第4部 近現代の地域・日本と世界	12	第4章 両大戦間の日本  第5章 十五年戦争と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次世界大戦，社会運動の動向，政党政治などを基に，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。</li> <li>・ アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</li> <li>・ 第一次世界大戦とその後の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。</li> <li>・ 軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解している。</li> <li>・ 主題を設定し，第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</li> <li>・ 十五年戦争の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。</li> </ul>	①  ②  ③  ①  ②  ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 授業レポート</li> <li>・ グループワークへの取組</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>

11	第4部 近現代の地域・日本と世界	14 第6章 戦後日本の形成 第7章 グローバル化のなかの現代日本	・ 占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，平和条約と独立の回復，戦後の経済復興，アジア諸国との関係，高度経済成長，社会・経済・情報の国際化などを基に，我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解している。 ・ 主題を設定し，戦前と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	① ② ③	・ 定期考査 ・ 授業レポート ・ グループワークへの取組 ・ ワークシート
12 1 2 3	問題演習	29 原始・古代から現代までの総復習	演習問題を通して、歴史総合の学習成果をふまえ、高校日本史の知識を体系的に理解し、問題解決の技法を習得している。	① ② ③	・ 定期考査 ・ ワークシート

## 5 課題・提出物等

ワークシートやレポートを提出することがあります。

## 6 担当者からの一言

この科目では中学校での学習や歴史総合の学習成果をふまえ、原始・古代から近現代までの日本の歴史をより深く、詳しく学びます。私たちが生きているこの社会や国家のしくみはどのようにしてつくられてきたのでしょうか。この科目の教材はそれを探るためのツールです。日本の歩みをいっしょに探っていきましょう。大学入試に向けて切磋琢磨する学習空間をともに作りあげていきましょう。（授業担当 高橋祐子）

## 令和6年度シラバス（倫理）

学番6301 新潟市立高志中等教育学校

教科名	公民科（倫理）	単位数	2単位	学年	6学年（人文コー
使用教科書	高等学校新倫理（清水書院）				
副教材等	最新図説倫理（浜島書店） 高等学校新倫理教科書準拠ワークノート（清水書院）				

### 1 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせる。</li> <li>・現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を行う。</li> <li>・広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。</li> </ul>
---

### 2 指導の重点

哲学や宗教に対する基本的な知識、また、国際社会や現代の諸問題についての基本的な理解を深めさせ、健全な自己形成を促し、主体的に生きることの大切さを自覚させる。
--

### 3 評価基準と評価方法

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。	・自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、理論的に思考し、説明したり対話したりすることができる。	・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。・多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。
〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	〔評価方法〕 以上の観点を踏まえ、授業への取り組み・定期考査・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。

### 4 年間計画（総時数70時間）

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4 5 6	・近代の成立  ・世界と人間をめぐる探究	15	・人間の尊厳  ・真理の認識  ・民主社会と倫理	・現代社会を根本から考えなおすための手掛かりとして、西洋の近代の特徴を理解させる。 ・人間の尊厳を論じたルネサンス、宗教改革、モラリストの思想を通して、幸福、愛、徳に着目して、人生への問いや人間の存在や価値について、自己の課題と結び付けて考察させる。 ・自然と人間との関わりや世界を捉える知の在り方を論じた近代科学の思考法、経験論と合理論を通して、真理や存在に着目して、人間の認識と経験を考察させる。 ・民主社会と人間の在り方や人間の尊厳、自己実現と幸福を論じた近代の諸思想を通して、善、正義、義務に着目して、自己の価値観を確立するとともに他者の価値観を尊重することの大切さを理解し、社会の在り方と人間としての在り方生き方について考察させる。	①          ②          ③	・定期考査  ・授業レポート  ・グループワークへの取組  ・ワークノート

7 8 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界と人間をめぐる探究</li> <li>・日本の風土と精神文化</li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会と個人</li> <li>・近代の世界観・人間観の問いなおし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主社会における人間の在り方を論じた現代の諸思想を通して、善、正義、義務などに着目し、社会の在り方と人間としての在り方生き方について考察させる。</li> <li>・近代の世界観や人間観を問い直す知見を備えた現代の諸思想を通して、真理、存在に着目し、世界と人間の在り方について考察させる。</li> <li>・日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、日本人の心情や考え方と風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりに着目して、日本人としての自己意識と結び付けて、理解させる。</li> <li>・外来思想である仏教を、日本独自の受容やその思想の形成と発展を通して、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを理解させる。</li> <li>・外来思想である儒教を、江戸時代における儒学諸派の形成を通して、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを理解させる。</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークノート</li> </ul>
10 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の近代化と人々の生き方</li> <li>・自然や科学技術をめぐる諸課題</li> <li>・社会や文化にかかわる諸課題</li> </ul>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋近代精神の摂取</li> <li>・近代的個人の自覚</li> <li>・主体的な生き方と価値観の模索</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋文化を摂取し、新しい文化や思想を形成した思想家たちを通して、現代を生きる日本人の思想形成にどのような影響を与えているかを理解させる。</li> <li>・先哲を含む他者との対話を通して、生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述させる。</li> <li>・先哲を含む他者との対話を通して、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に</li> </ul>	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業レポート</li> <li>・グループワークへの取組</li> <li>・ワークノート</li> </ul>
12 1 2 3	問題演習	15	倫理の総復習	演習問題を通して、公共の学習成果をふまえ、高校倫理の知識を体系的に理解し、問題解決の技法を習得している。	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

## 5 課題・提出物等

ワークノートやレポートを提出することがあります。

## 6 担当者からの一言

この科目では中学校での公共の学習成果をふまえ、西洋近代思想、日本人の思想、現代の諸課題について、学習します。生きるヒントを学びながら、自分の意見を持つようにしましょう。（授業担当 村上 雅俊）



	4章 生活文化、民族・宗教		世界の衣食住 民族と宗教 民族・領土問題	世界の民族・言語・宗教 現代世界の国家 世界の民族・領土問題	<p>c</p> <p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にここでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にここでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
8 ～ 3	<p>第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察</p> <p>1章 地域区分とは何か</p> <p>2章 現代世界の諸地域</p>	64	<p>地域の考察方法</p> <p>東アジア・東南アジア・南アジア</p> <p>西アジアと中央アジア</p> <p>北アフリカとサハラ以南のアフリカ</p> <p>ヨーロッパ</p> <p>ロシア</p> <p>アングロアメリカ</p> <p>ラテンアメリカ</p> <p>オセアニア</p> <p>共通テスト対策</p> <p>2次試験・私大対策</p>	<p>各地域のもつ特色や他地域との結びつき、地域が抱える問題や将来の課題の探求。さらに、代表的な国家についてその地誌的考察。</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。</p> <p>現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にここでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

## 5 課題・提出物等

授業や作業学習への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。

## 6 担当者から一言

日本や世界で起きている事象を、グローバルかつ多面的な視野で探究するスキルを磨きましょう。

教科（科目）	地歴公民 地理探究	単位数	3単位	学年（コース）	6学年（理数・理工コース）
使用教科書	新詳 地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）				
副教材等	最新地理図表ジオ（第一学習社）、新地理総合ノート（帝国書院）、地理10分間テスト（山川出版社）				

### 1 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

### 2 指導の重点

大学受験に必要な地理の実力をつけることが最重点である。「系統地理分野」を10月までに完成し、11月からは演習をしながら「地誌分野」を完成させ、主に共通テスト対策の力をつけさせる。

### 3 評価基準

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から比較をし、系統地理と地誌に関わる重要語句を理解している。</li> <li>グラフや統計資料、図版、年表、地形図などから必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理事象を多角的にとらえ、その影響・意義について考察することができる。</li> <li>資料から考察した内容をレポートなどにまとめ、分かりやすくまとめることができる。</li> </ul>	<p>他者と協働しながら、さまざまな地理的事象を理解し、それを現代社会の諸課題を考えたり解決したりすることに、活用しようとする意欲が見られる。</p>
評価方法	以上の観点を踏まえ、授業や作業学習への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、授業や作業学習への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、授業や作業学習への取り組み・定期考査・小テスト・提出物（課題・補充プリント）から総合的に評価する。

### 4 学習計画

月	単元名	授業時数 105時間 (55分)	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4 ～ 5	第1部 現代世界の系統地理的考察  第1章 自然環境	4 1	地形・気候・地球環境問題	地形の成因と地球表面の起伏 地球規模の大地形 河川流域と海岸に見られる小地形 そのほかの特徴的な小地形 気候の成り立ち 気候と生態系 世界の気候区分 気候変動と異常気象 日本の地形と気候 さまざまな地球環境問題 地球環境問題の解決に向けた取り組み	a  b  c	地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性を理解している。  地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、主題を設定し、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現している。  自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。





11 ～ 3	第2部 現代世界の地誌的考察 1章 地域区分とは何か 2章 現代世界の諸地域		地域の考察方法  東アジア・東南アジア・南アジア 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南のアフリカ ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア  共通テスト対策 2次試験・私大対策	各地域のもつ特色や他地域との結びつき、地域が抱える問題や将来の課題の探求。さらに、代表的な国家についてその地誌的考察。	a   b      c	いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。  現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。  現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
--------------	--	--	---	---	---	--

## 5 課題・提出物等

単元ごとに補充プリントを利用。 長期休業時に課題。

## 6 担当者から一言

日本や世界で起きている事象をグローバルかつ多面的な視野で探究するスキルを磨きましょう。